

企業行動研究部会（#345）議事録

日 時：2025年6月9日（月）18：00～20：00

場 所：リモート会議

参加者：（12名）

●事務局連絡

- ・ 6/14JABES総会予定。HPやメールを確認し出席・議決権行使連絡願う。総会後理事会で会長選挙説明、7月初旬新会長決定予定。当部会より永井氏が新理事就任、河口理事、片方監事退任予定。
- ・ 7/19研究発表大会を慶應義塾大学日吉キャンパスで開催予定。
- ・ 当部会の350回記念回（11月）に関する提案を事務局宛てに求む。

●研究発表

テーマ：「外国人材との共生を旨とする創造的対話」

古谷由紀子 部会員

○要旨

（一財）CSOネットワークがトヨタ財団の助成を受けて、2023年5月から2025年の4月に実施した「外国人材の人権尊重」の事業を紹介する。その取り組み方法は、文献調査および国内・海外訪問調査を実施し、「外国人材との共生をめぐる創造的対話ガイドブック」などの冊子の発行や企業・自治体等に向けてセミナー等を実施した。

私たちは、日本では企業において外国人雇用が増加する中で、外国人の人権尊重が重要な課題となっていることから、市民組織として何ができるだろうか、という問題意識から事業を行った。現在、企業は人権尊重責任として人権デューディリジェンスを実施しているが、必ずしも効果的な実施になっていない。また外国人雇用は、人権リスクが高く、特にライツホルダーとの対話が重要であることから、双方の対等な関係性のもとで、互いの立場や文化の違いを理解し合うよう努め、問題に対する解決を模索する中で、新たな取組みを生み出す相互のやり取りである「創造的対話」を提案したものである。

意見・質疑

- ・ 共生社会の難しさは、自身のヨーロッパ在住経験で実感した。EUに移民が増えたが共生できておらず諸問題が起きている。日本が共生社会を実現するには日本人の意識改革が必要だ。→日本人が創造的対話を通じて相手の文化・習慣を知ることが大切。例えばベトナムは昼寝習慣が根付いているが、それを知らない日本人はベトナム人の昼寝を怠けていると勘違いしていた。違いを理解することから誤解が解け、お互いを尊重できるようになる。

- 外国人労働者が真に安心して就労できるよう、言語サポートや個別の相談役は重要だ。送り出し機関、受け入れ機関に関連する制度課題も問われている。→一部の企業では送り出し機関への支払いを肩代わりし外国人労働者の借金問題を解決している。全体として昨今外国人労働者の受け入れ環境は改善されつつある。
- 実務経験上、日本人の友人を持つ留学生の方が幸福度が高いことは明らかなだ。日本に定住する外国人が日本の生活習慣やルールを学ぶことは欠かせないが、日本人側が相手国の文化を理解しようとする姿勢こそ重要。一般的に日本人は対話が下手で垣根を作ってしまう。日本人は、欧米人と東南アジア・中国人に対する態度が違う。解決するためには日本人に対する教育が大事。
- 外国人人材受け入れと共生社会実現におけた取り組みに関して、関係省庁や自民党などが方針を毎年更新し公表している。国の機関と市民団体との対話の現状はどうか。→国や日弁連と市民団体との対話は実現していないのが実情。原因として外務省等機関の組織体制課題や市民団体側の要求の高さがある。CSOネットワークスは「創造的対話」に関する提案資料をHPに公開し発信している。また7月1日に「マルチステークホルダーによるNAP評価指標勉強会」を開催し様々なステークホルダーが議論する機会を設ける。

以上

2025年度 発表者エントリーシート

開催日	開催回数	発表者
08月18日	347	川村さま
09月08日	348	吉野さま(予)
10月20日	349	宮崎さま
11月10日	350記念開催	調整中
12月08日	351	日野さま
01月12日	352	
02月09日	353	
03月09日	354	

次回以降のスケジュールは左の通りです。年明け#352回以降の発表者が決定しておりません。当企業行動研究部会は、企業に行ける意思決定の際の様々な判断材料&情報を会員間で共有し、判断に求められる最適な意思決定を研究検討する部会です。

従ってギブ・アンド・テイクを基本原則・精神とします。全ての

の会員の自主的積極的な報告や情報提供を通じ、充実した質疑応答やグループ討議が行われることを幹事一同目指しています。

各位スケジュール&エントリーのほど、よろしくお願いいたします。